

# 子どもの未来をひらく

大阪の人権教育の取り組みから

2016年

7月20日(水)～9月3日(土)

会場：大阪人権博物館特別展示室

## ◇記念シンポジウム「子どもを守る教育の課題」

山崎一人 (大阪市立南小学校) 莊保共子 (NPO 法人こどもの里)

肥下彰男 (大阪府立今宮高校) 多賀仁 (大阪市立住吉中学校)

会場／大阪人権博物館 研修室

日時／7月30日(土) 14:00～

参加費／入館料のみ (申し込み不要・当日先着順)

◇セミナー 7月23日(土) 14:00～

吉村智博 (当館学芸員)

◇展示解説 8月6日(土) 14:00～

主催：大阪府人権教育研究協議会／大阪市人権教育研究協議会／大阪府在日外国人教育研究協議会  
大阪市在日外国人教育研究協議会／大阪府立学校人権教育研究会／大阪市立高等学校人権教育研究会  
大阪私立学校人権教育研究会／大阪府専修学校各種学校連合会／ちやいんどネット  
大阪府教職員組合／部落解放同盟大阪府連合会／大阪人権博物館

## 大阪人権博物館 (リバティおおさか)

- 開館時間 通常 10:00～16:00 (入館は15:30まで)  
土曜 13:00～17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 日曜、月曜、火曜、祝日、第4金曜日、8月11日～13日
- 入館料 大人 500円 (400円)、高・大生 300円 (200円)  
小・中生 200円 (100円)、65歳以上 300円 (200円)  
障害者 (介助者含む) は無料  
※( ) 内は有料入館者が20名以上の場合



リバティおおさか  
大阪人権博物館

〒556-0026  
大阪市浪速区浪速西3-6-36  
ホームページ <http://www.liberty.or.jp/>

- JR環状線「芦原橋駅」下車南へ約600m
- JR環状線・大和路線「今宮駅」下車西へ約800m
- 大阪市バス「浪速西3丁目」バス停下車西へ約200m
- 南海汐見橋線「木津川駅」下車東へ約300m

第71回特別展

# 子どもの未来をひらく

大阪の人権教育の取り組みから

2016年7月20日 **水** ~ 9月3日 **土**

日本国憲法に謳われている教育を受ける権利（第26条）を実現するため、全国の教育関係者は各地で同和教育の実践に取り組んできました。大阪でも被差別部落の子どもたちの就学や学ぶ機会を保障する取り組みから始まった同和教育は、やがて社会のなかで不利益を被っているすべての子どもに目を向けるようになり、人権教育が各地で積極的に展開されてきました。

多様な生き方や考え方を尊重する人権教育は、子どもを見つめ、受け止め、寄りそうなかから、困難に直面している子どもが尊厳をもって生きていくためにあらゆる努力を続け、豊かな人間づくりをめざしてきました。生まれた場所や家庭環境に左右されることなく、誰もが希望をもって教育を受ける権利をもつというメッセージを伝え続けました。そのことがすべての人びとを差別から解放するものであるという信念があったからです。それは、「すべての子どもの最善の利益」（「子ども権利条約」）という国際的な理念とも一致する考え方でもあり、やがて、政府においても人権教育の達成には、人権擁護の基本的知識の「内容と意義について知的理解を徹底し、深化することが必要」（文部科学省）であると認識されるにいたりしました。

しかし、経済的な格差は解消されることなく存在し続け、近年その実態が顕著になってきています。全国的にみて6人に1人（大阪では5人に1人）の割合で貧困率に直面している子どもがいること、あるいは子育て世代の貧困率などはそのことを雄弁に物語っています。さらに、小中学生での不登校の子どもも20年間10万人を下回ったことがなく、現在では12万人以上にのぼっています。こうしたことから明らかなように、子どもを取り巻く環境はまさに厳しさを増しています。

いまこそ、人権教育が果たしてきた役割を見つめ直し、困難な状況に置かれている子どもを守るための課題を明らかにする必要があります。

本展は、人権教育に早くから取り組んできた大阪での取り組みの具体像を振り返り、人権教育の課題を考えようとするものです。